

子ども会活動を通して成長してみませんか？

松本 学武 高松市子ども会育成連絡協議会 会長

子どもたちは“遊び”を通して、社会の一員としていろいろなことを学んでいきます。こうした子どもたちのために、高松市子ども会育成連絡協議会（市子連）では、地域の皆さんと共に“遊び”に重点をおいた様々な行事を行っています。

その行事には、子ども同士の友情や交流を目的とした「子ども参加行事」と、子ども会活動をより効果的で有意義なものにすることを目的とした「育成者参加行事」があります。

子ども参加行事、どんなことしてる？

子ども参加行事として、フットベースボール大会やリーダー研修会、そして市子連で最大の行事である、新春子どもフェスティバルなどがあります。

フットベースボール大会では、勝利したときの歓喜だけではなく、負けて悔しくて泣いてしまうこともあります。子ども同士で励まし合ったりして、自然と心の成長も見ることができます。

リーダー研修会は、各校区から子ども会のリーダーとして子どもたちが参加する研修会で、夏と冬の年2回行っています。私は最初に「各校区のリーダーと自覚して今回参加した人は？」と聞きますが、いつも一人として手が上がりません。そんな子どもたちが、研修会が終わって帰る頃には、皆、^{せいがん}精悍なリーダーの顔つきになっているのには驚かされています。今年度は、7月に高知 YASU 海の駅クラブでシーカヤックと牧野植物園の見学、2月に男木島ウォーキングをしました。高知でのシーカヤック体験で、子どもたちからは「インストラクターの先生にボートのこぎ方を教えてもらって上手に進むことができてうれしかった。」や「ボートを運ぶ時は知らない人と協力して緊張したけどがんばりました。力を合わせて協力できていい経験になりました。」など感想がありました。

新春子どもフェスティバルでは、すもう、かるた、ドッジボールで、各地域の代表同士で白熱した戦いが繰り広げられます。また、自由参加の創作・遊びコーナーもあり、子どもたちが楽しく、真剣に頑張ったり遊んだりするおまつりです。すもう大会の様子は『広報高松3月号』の表紙に掲載されました。子どもたちのいきいきとした表情をご覧ください。



育成者（大人）対象のイベントも

また、子どもを中心とした行事だけではなく、育成者（大人）を対象とした行事として、新役員講習会や育成会指導者講習会などを行っています。

新役員講習会は、主に新しく役員になられた方を対象にした講習会で、例年5月頃に行っています。今年度は、しおのえセカンドステージでグループ討議の後、体験活動として竹を使って炊き込みご飯を作りました。参加者からは「校区子ども会、市子連の活動やそのつながりを知る機会になりました」や「調理体験は災害の時にも役立つ工夫を知る機会を得ました」などの感想がありました。

育成会指導者講習会は、各校区育成会の指導者を対象にした講習会です。新役員講習会と同様に、体験活動を取り入れて、校区や地区の子ども会行事の参考にできる内容になっています。

今だけしかできない、かけがえのない体験を

昨今、子どもの数が減少し、共働き世帯が増えたことなどから、子ども会の役員不足につながって、子ども会を持続することが難しくなっているのが実状です。しかし、何年にもわたって伝えられてきたもの、それがずっとあるということは豊かなことでもあります。市子連では、様々な行事を通して、将来を託す子どもたちに今しかできない体験活動を提供したいと考えています。

子育ての時代は大変ですが、長い人生の中で子どもと関われるのはほんの一瞬です。是非、子ども会に入って子どもと一緒にこの時期を楽しみましょう。

市子連についてもっと知りたい方はこちらから！

高松市子ども会育成連絡協議会 HP：<https://sikoren.com/>

